

発行所
 広島市南区出汐町
 広島皆実高等学校内
 社団法人
 皆実有朋会
 TEL 54-1290
 印刷所
 三栄印刷株式会社
 東雲1丁目電 1988



高にの足を歩も
 実このも元歩
 歴後者も気歩
 年八十年歩
 生八十連高揃
 至るまに音等
 一期生を流し
 第一校生なる
 期生なる流し
 校生なる流し
 連なる流し
 同なる流し
 音も高く歩
 員で歩

終身会費を納めて下さい (皆実十一期以降は全員終身会員です) 会費未納の方はご協力下さい

創立八十周年

記念式典開催さる

古いものと新しいものと
 が一緒になり、古いものは
 新しいものの善さを、又新
 しいものは古いものの善さ
 を認めて互いに助け合い、
 明治34年県の認可をいただ
 き「親切・辛抱」から、「優

郵便貯金ホールにて、9時
 20分より、皆実高校・皆実
 有朋会・PTAの三者合同
 による記念式典が挙行され
 ました。
 学校長の式辞にはじまり
 中川理事長の「八十周年の



～合田校長式辞～

式典に参列
 出来はんと
 うに生きて
 いていかっ
 た」と胸迫
 る御挨拶に
 引きつづき
 八十周年の
 佳き日を期
 して向う一
 年間、全同
 窓生に、よ
 びかけて築
 きあげると
 ころの母校
 生徒に対す
 る「教育振
 興基金によ
 る教育振興
 資金」なる

にやさしく恭謙に・清く明
 るく剛健に」の流れる教訓
 は「勤勉・強行・責任・自
 由」の校風に築きあげ、遂
 に八十年の歴史を迎え盛大
 に昭和56年9月26日・広島

目録を、竹内副理事長より
 合田校長に贈呈されました。
 又、来賓の数々の祝辞のの
 ち、県女の校歌、皆実高校
 の校歌を合唱部の生徒の皆
 さんに導びかれ、会場の出

席者全員声をあわせ、80年
 の歳月をかみしめながら斉
 唱し、故新原教頭の司会に
 より閉会されました。
 引きつづき、有朋40期・
 望月美佐様(書家)の
 「世界における日本文字
 の魅力」
 と題して若い生徒に興味深
 く楽しく一時間余の記念講
 演をしていただき、プラス
 バンド奏する皆実高校校歌
 にあわせて、白いパネル十
 枚に躍動する若者の如く、
 生き生きと墨痕あざやかに
 光よみがえる

平和の園に
 とわに新しき
 時世を告ぐる
 鐘の音さやかに
 ひらけゆくなり
 友よ いざ友よ
 いま明けをむる
 雲波に
 悠久の 悠久の
 まこと求めん
 と書きつらねられ、今日一
 日の記念式典は明日をめざ
 してとじられました。

＊ ＊ ＊
 ＊ ＊ ＊
 ＊ ＊ ＊

『柏とハート』

皆実高校校長 合田 学

会員の皆様におかれまし
 ては、ますます御健勝にて
 御活躍の事と存じます。日
 頃より、母校の教育の為
 いろいろとお力添えいただ
 き、深く感謝いたしており
 ます。
 さて、過ぐる八月七日の
 中国新聞に「後輩と哀悼歌
 「朝の県女慰霊碑」と題
 して、皆実高校合唱部員ら
 が、慰霊碑に歌をささげる
 写真が出ていましたのを御
 覧になった方も多いいと思
 います。

今年も八月六日には、県
 女慰霊碑にたくさんの方々
 がお参りくださいました。
 合唱部のリードで同窓生、
 旧現職員が哀悼歌をささげ
 それぞれの思いを胸に、平
 和を願う一つの心になって
 碑にぬかづきました。
 八十七才の高齢で己妻か
 らタクシーに乗って来られ
 たという遺族の方から、戦
 争を全く知らない現在の皆
 実高校生までが慰霊碑に集
 い、一つの心になって祈る
 ことの有難さと、三十六年
 間広島島の被爆者が祈り続
 けても、なお及ばぬ遠い世界
 の平和を思いました。

八月二十三日の皆実有朋
 同窓会定期総会は、五百余
 名の方々が出席され、盛大
 に行われました。暑さの中
 忙しい中を、万難を排して
 同窓生が集まってくる。そ
 れは、利益や学習など今日
 現在の目的をもつ他の会合
 とは異なつた純粋な「集い
 」といえましよう。
 広島県女、広島第一県女
 有朋高校、皆実高校とい
 校名の移り変りが大きな時
 の流れを示し、学校教育自
 体の変動を如実に物語って
 おります。その明治・大正
 ・昭和(戦前戦後)、八十
 年の時を越え、同窓生一人
 一人が歩んで来た栄光や苦
 難の人生を越えて、「情有
 り」と集ってくるのです。
 無形の心のつながり「母校」
 と、そこに生きた自分の青
 春を再確認するために。
 「ひろしま志

い皆実同窓生や在校生の中
 に、かつての自分を見出す
 と共に、苦しみを耐えて生
 きた広島の新しい未来が力
 強く育っている事を感じら
 れる事でしょう。また、後
 輩や在校生は、永い歴史の
 中で培われた誇りに励まし
 れ、胸にいたく将来の夢を、
 諸先輩の姿に重ね、着実な
 努力が必ず身を結ぶことを
 現実を知ることでしよう。
 雪とハートの校章に象徴
 された「優にやさしく恭謙
 に、強く明るく剛健に」の
 校風を、柏の葉の剛健と雪
 の結晶の純潔優美のマーク
 にとどめ、「勤勉・強行・
 責任・自由」の校是の裏打
 ちとして、これからも品格
 のある明るい皆実高生を育
 てたいと教職員一丸となっ
 ております。

明治三十五年創立以来八
 十周年の同窓会の強い「き
 ずな」と「生命」を、お祝
 いすると共に、さらに大き
 なエネルギーとして、来る
 べき百周年への発展をお祈
 りいたします。

＊ ＊ ＊
 ＊ ＊ ＊
 ＊ ＊ ＊

＊ ＊ ＊
 ＊ ＊ ＊
 ＊ ＊ ＊

＊ ＊ ＊
 ＊ ＊ ＊
 ＊ ＊ ＊